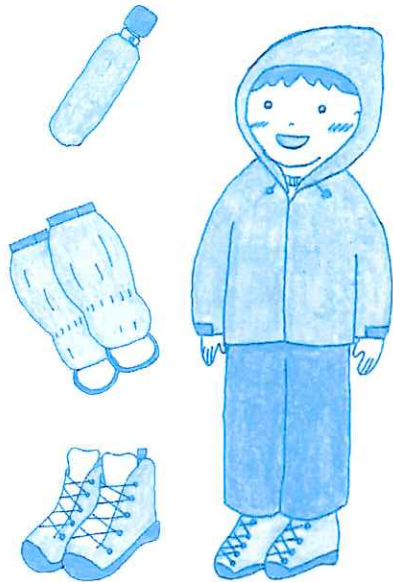
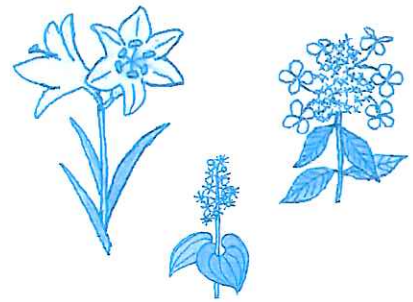


■ 梅雨の裏磐梯 ■

昨年の梅雨は…と日誌などを見ながら思い返してみました。裏磐梯は6月中旬に梅雨入りしましたが、雨の少ない梅雨らしくない天気が7月中旬頃まで続き、その後は、一日中、強い雨が降っていたり、午前中は快晴なのに午後になり急にバケツをひっくり返したような大雨が降るというような感じで8月上旬まで天候が安定しませんでした。

今年の梅雨は早く明けるとよいのですが、どうなるのでしょうか。



そんな梅雨の時期でも裏磐梯には楽しみがあります。様々に咲く花です。雄国沼のニッコウキスゲも梅雨の真っ最中（6月中旬～7月上旬）に見頃を迎えます。一面に咲くニッコウキスゲを見ようとたくさんの方が訪れますが、皆さんは、どんな準備をして出かけますか？

朝から雨の降っている日などは傘やレインウェアなどを準備されると思いますが、晴れの日はどうでしょう？普段からトレッキングや登山をされる方は常にトレッキングシューズ、スパッツ、レインウェアなどを準備されていると思いますが、観光で来られる方は街を歩くような服装に靴やサンダルといった姿で歩いているのをよく目にします。

梅雨に限らず、山の天気は変わりやすいもの。探勝路を歩く時は、晴れた日でも突然の雨に備えて、傘や防水性の靴、レインウェアなどを準備して楽しく安全にお出かけください。

■ こんなの見なかった？ ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

綿菓子？発泡スチロール？はんぺん？ソフトボール？

6月くらいになると、裏磐梯の至る所になんとも表現に困る白い物体が、木からぶら下がります。思いのほか近くで見られるので、触ってみようにも岸から水面にニョキッと伸びた枝先についているので手が届きません。

さて、「木になっている」不思議な物は何なのでしょう？

- ①木に投げつけられたゴミ
- ②春になると見られる、「アワフキムシ」のアワアワ
- ③磐梯山周辺で行われる行事の飾り
- ④「モリアオガエル」の卵の塊
- ⑤木から出てくる樹液



正体は、「モリアオガエルの卵」です。

不思議な姿ですが、不思議な事も持ち合わせていて、どの卵を見ても水の真上にぶら下がっています。きっと、卵から孵ったオタマジャクシが、水の上に着ることができるようにという理由じゃないかと思います。

中には、手が届きそうな場所に産み付けられている卵もありますが、見るだけでそっと見守ってあげてください。

